

うきは

平成30年11月1日

(平成30年9月議会号)

市議会だより

特集・編集後記 16



7月21日～22日吉井祇園祭り

県大会準優勝

つたえる



7月22日福岡県消防操法大会(ポンプ自動車の部)

上程された主な議案

◇報告（平成29年度財政健全化判断比率及び資金不足比率・
うきはの里株式会社経営状況）

◇専決処分の承認（一般会計補正予算 第2号）

◇補正予算（一般会計及び特別会計）

◇人事案件（人権擁護委員の推薦）

◇うきは市道路線の認定及び変更

◇福岡県介護保険広域連合の処理する事務の変更及び規約の変更

◇浮羽老人ホーム組合（解散・規約変更・
財産処分・市有財産の貸付）

◇うきは市国民健康保険給付費等支払基金条例の一部を改正する
条例の制定

◇決算認定（平成29年度一般会計及び特別会計）

◇請願・陳情（ページ14、15参照）

追加議案

◇意見・決議（ページ5参照）

今議会は、「浮羽老人ホーム組合」の民営化のほか、平成29年度の成果・実績を評価する一般会計及び特別会計決算を主な議案として審査しました。

特に決算審査では、着手して3年が経過した「地方創生」において、東京ほか大都市への一極集中を是正し、地方の人口減少をいかに食い止めるかを命題としなが

ら、その実態は逆に都市圏への一極集中が加速しています。

これらの実情を踏まえ、審査では農林業、とりわけフルーツ生産等を取り巻く自然環境や歴史文化

など豊かな地域資源を活かした

「うきは市ルネッサンス戦略」の進捗と今後の動向等に議論が集中

するなど、5日間にわたり真剣かつ活発な議論が展開されました。

報告

▽平成29年度

財政健全化判断比率等

一般会計の歳入決算額に占める構成比率は、「自主財源」(32・8%)と「依存財源」(67・2%)となり、市税は増加したものの地方交付税の減少や市債の増加等により、自主財源の比率が前年度に比べ0・6ポイント減少しています。

市の健全な行財政運営のためには、市民の納税意識向上を図り、新たな滞納を発生させることのないよう各課の連携を強化し、各種の債権管理や収入未済対策に粘り強く取り組み、更なる自主財源の確保に努めることが重要であります。

▽うきはの里株式会社

「道の駅」経営状況

九州、沖縄、山口の「道の駅」人気度ナンバーワンに、2年連続選ばれたことにより4月から6月までの3ヶ月は、二桁の伸びをしていましたが、7月に発生した集中豪雨により、以降客数が減少し最終売上実績9億3727万円で、前年比22・13

万円の減、客数も61万5400人と、前年比10万6600人減となりました。

また、「うきは地域総合商社」外販事業につきましては、各種イベントへの出店販売を行い、年間売上高1334万円となっています。

観光地づくりの拠点となる施設「ウキハコ」を平成30年4月よりオープンしており、半年が過ぎましたが、成果等については来年の報告とし、今後更なる「フルーツ王国うきは」の魅力を活かし、多くの来訪者を迎え、観光はもちろん「道の駅」の集客など、戦略に期待をするところです。



道の駅うきは

平成30年度一般会計補正予算（第3号）



主な歳入

◇地方交付税 (普通交付税)	1億9231万円
◇使用料及び手数料 (市有土地建物使用料)	7527万円
◇国庫支出金 (公共土木施設災害復旧費負担金、地方創生推進交付金、子ども・子育て支援交付金、学校施設環境改善交付金ほか)	1億1226万円
◇県支出金 (農林水産業施設、農地災害復旧費補助金ほか)	7862万円
◇繰入金 (財政調整基金、ふるさと創生基金)	2億2670万円
◇繰越金 (前年度繰越金)	3億4899万円
◇市債 (臨時財政対策債ほか)	▲2億2940万円

主な歳出

◇総務費 (減債基金、個性あるまちづくり事業補助金、地方創生推進費主に鏡田屋敷に関する整備ほか)	3億8478万円
◇農林水産業費 (県営事業附帯工事費、荒廃森林再生整備委託料、森林再生路整備工事費)	▲5783万円
◇商工費 (産業立地交付金ほか)	2443万円
◇土木費 (道路維持修繕、道路改良舗装工事費ほか)	2978万円
◇教育費 (御幸小学校南校舎大規模改造工事費ほか)	1億9550万円
◇災害復旧費 (災害復旧工事費)	2億3250万円
◇諸支出金 (下水道、簡易水道事業特別会計繰出金)	2250万円

歳入歳出それぞれ8億3797万円を追加し、歳入歳出予算の総額はそれぞれ173億1562万円となりました。

◆専決処分の承認

▽一般会計補正予算(第2号)

7月発生の豪雨により災害復旧費【農地災害、農業用施設災害、公共土木施設災害】3400万円の補正を行ったものです。

◆一般会計補正予算(第3号)

▽繰越明許費

学校施設環境改善事業

【御幸小学校南校舎

大規模改造工事費等】

1億8898万円

内訳

南校舎大規模改造工事監理

業務委託料 434万円

南校舎大規模改造工事費

1億8464万円

工期が平成31年8月末まで必要のため繰越になりました。

▽債務負担行為補正

町並み交流館商家指定管理料

期間・平成30年度～平成33年度

当該指定書に基づく指定管理

料相当額です。

滞在型交流施設注連原住宅

指定管理料

期間・平成30年度～平成33年度

当該指定書に基づく指定管理

料相当額です。



鏡田屋敷

10月中旬ごろから公募により指定管理者を選定し、12月議会において提案の予定です。

▽総務管理費

地域活性化推進費

【個性あるまちづくり事業費補助金】

670万円

古民家テラス改修・利用計画

1期目やパークゴルフ場改修事業費ほか認定されました。

地方創生推進費

【鏡田屋敷テレビ会議システム等導入委託料他】

1100万円

地方創生推進交付金を活用したサテライトオフィス整備事業

であり、目的としては、文化財である鏡田屋敷にテレワークができる環境を整え、テレビ会議システム等の導入・整備を行い、文化財の新たな活用を図っていきます。

▽農業費

耳納山麓開発費

【農業競争力強化基盤整備事業費負担金】

460万円

県営大野原畑かん事業にかかる市負担金です。

▽小学校費

学校管理費

【スクールバス車庫設置工事費】

384万円

【スクールバス購入費】

838万円

妹川小学校の平成31年3月閉校に伴い、御幸小学校に専用の車庫を設置し、スクールバスとして10人乗り2台を購入します。

また、地域公共交通会議において、交通弱者対策に利用するなど、幅広く検討を重ねていくよう要望しています。

【農林水産業施設災害復旧費】

農地災害復旧費

農地災害復旧費

農地災害復旧費

農地災害復旧費

農地災害復旧費

農地災害復旧費

農地災害復旧費

農地災害復旧費

【災害復旧工事費】

5350万円

農業用施設災害復旧費

【災害復旧工事費】

1億700万円

▽公共土木施設災害復旧費

公共土木施設災害復旧費

【災害復旧工事費】

6600万円

災害復旧費は、7月5日に被災した農地及び道路の復旧のための補正で、基本的に原型復旧で行う計画です。



今年度末をもって閉校となる妹川小学校の最後の運動会

◆特別会計補正予算（第1号）

▽うきは市国民健康保険事業

基金積立金

【基金積立金】 5999万円

前年度収支決算による不用額です。

償還金及び還付加算金

【過年度療養給付費等国庫

負担金返還金】

5154万円

当該年度における医療費決定による返還金です。

▽うきは市立自動車学校

事業費

【修繕料・基金積立金】

315万円

放送機器の取り換え及び前年度決算により積み立てるものです。

▽うきは市下水道事業

施設維持管理費

【汚泥処理委託料】 762万円

下水道接続件数が増え、汚水処理が増加したことによるものです。

◆道路線の認定

竹の町線

【浮羽町朝田字竹の町】

宅地造成に併せて新設された

道路を市道として認定するものです。

◆道路線の変更

笹見田・越ノ地線

【吉井町生葉字笹見田】

河川改修に伴い、市道の起点部分を変更するものです。

◆人事案件

▽人権擁護委員の推薦

任期 平成31年1月1日から

平成33年12月31日

委員

焼山 由美子



委員

三善 末照



委員

佐藤 富子



◆浮羽老人ホーム組合の解散

解散・規約変更・財産処分・

市有財産貸付

「うきは老人ホーム組合」は、生活困難な高齢者の保護を目的に、旧浮羽郡3町（田主丸町、吉井町、浮羽町）の共同事業として設立（昭和30年に事業開始）され、63年が経過しています。

建物の老朽化とともに、近年の急速な高齢化社会に対応する地域包括ケアシステムなど制度改正等により民営化が余儀なくされる現状において、平成31年度末をもって組合解散の方針が示されていました。

この議案は、組合解散に要する規約の変更と財産処分等を久留米市及びうきは市議会の議決を要するため提案されたもので、解散による財産処分は、現老人ホーム解体費用を差し引いた554万円を久留米市がうきは市に支払い、清算が完了します。

また、この事業は民間「社会福祉法人ふたば会（大刀洗町）」が引き継ぎ、新たに建設が予定されている土地（吉井町と畜場跡地）に建設期間（1年間）は無償とする議案も全会一致で可決成立しました。



浮羽老人ホーム

◆追加議案

□ 地方財政の充実・強化を求める意見書（案）の提出

意見書（案）の提出

□ 教育予算の確保と充実を求める意見書（案）の提出

意見書（案）の提出

□ 国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書（案）の提出

意見書（案）の提出

□ 小学校へのエアコン設置を求める決議（案）の提出

決議（案）の提出

□ 小学校へのエアコン設置を求める決議（案）の提出

決議（案）の提出

□ 小学校へのエアコン設置を求める決議（案）の提出

決議（案）の提出

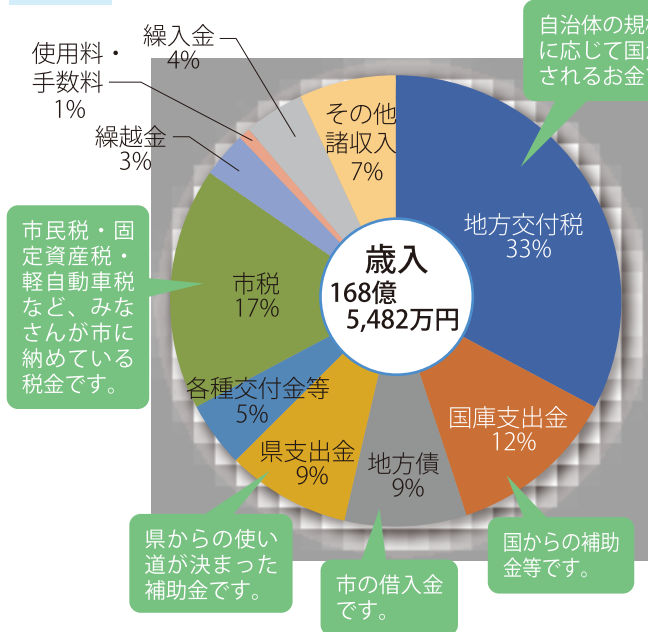
平成29年度歳入・歳出決算 認定

決算審査は、9月14日から21日まで、議員全員による決算特別委員会（委員長：江藤議員、副委員長：中野議員）を開き、市の政策・事務及び事業について、予算の主旨・目的のとおり執行されたか、また「費用対効果」など、審査検証を行いました。

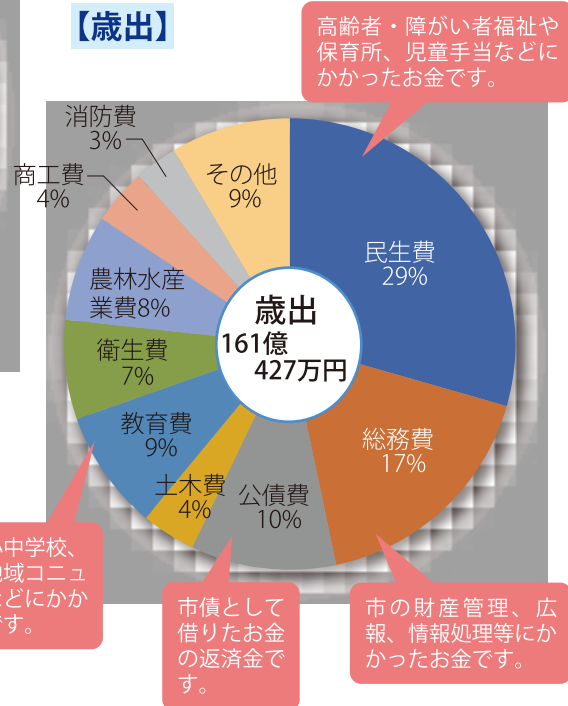
うきは んちの家計簿【うきは市の財政】 一般会計



【歳入】

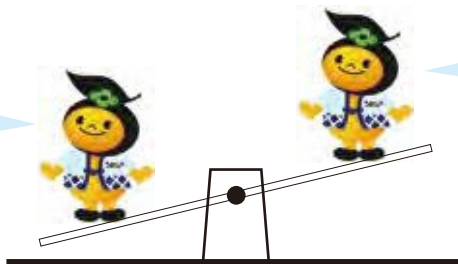


【歳出】



市債(借金)と基金(貯金)の状況 (一般会計分) 平成30年3月末人口：30,010人

市債(借金)
131億4163万円
(市民1人当たり
43万7908円)



基金(貯金)
113億8012万円
(市民1人当たり
37万9210円)

決算を チェック

総括質疑

質問…積極的に地方創生事業を取り組んでもらっているが、その実績はどうなっているのか。

回答…うきは市は全国的に見ても積極的に地方創生に取り組んでいます。実績にあつては、国からKPI（目標達成値）を求められていることからしっかりと実績を上げていきます。

質問…地方創生の取り組みに対して、あまりにも補助金にとらわれ過ぎていないようだが。

回答…自主財源が少ない中で地方創生を取り組むためには、国の補助金は欠かせないものです。ルネッサンス戦略に基づき、議会の承認のもと地方創生に取り組みま

す。

質問…農業の担い手育成が現実問題となっているが、担い手をうきは市に呼ぼうとする施策が弱いのではないか。

回答…うきははテロワールを都市部にPRしながら、農業の担い手確保、担い手の法人化についても総合的に取り組んでいきます。

水資源対策室

質問…河川・地下水の水質検査について、異常値が出た地域への対応策は。

回答…29年度実施した河川・水質検査における異常値は、人体に問題はありませんが、関係自治協議会へ知らせしており、関係各課と協議しながら対策を進めていきます。

福祉事務所

質問…うきは市の自殺防止対策は。

回答…自殺対策プロジェクト委員会を開催し、街頭啓発・ゲートキーパー研修等を実施し、自殺防止対策に努めています。

質問…介護保険料（普通徴収）滞納対策は。

回答…滞納者への文書送付、個別訪問により積極的に取り組んでいます。

質問…要介護者に対する防災に関する避難場所はどうするのか。

回答…指定避難場所について市民協働推進課と進めています。

生涯学習課

質問…鏡田屋敷の改修工事の目的は。

回答…文化財の価値を損なわずに滞在可能な施設整備工事を行い、サテライトオフィスとして活用します。

質問…2施設ある歴史資料館は、1本化すべきと思われるが今後の計画は。

回答…平成32年度までに検討していきます。

農林振興課

質問…鳥獣害防止対策として侵入防止柵が行われているが、防災対策だけでなく駆除対策はどう考えているか。

回答…被害情報により継続的に有害鳥獣駆除班に活動していただきたいと考えています。また、鳥獣駆除の免許取得者を増やしていきたいと考えています。

うきはブランド推進課

質問…うきはは地域総合商社は、どのような目的で誰が行っているのか。

回答…うきははの里株式会社営業推進本部が、うきは市のすべての産業の生産品を売り込みながら外貨を稼ぐことを目的に行われています。



決算特別委員会の審査状況

財政を見る 3つのポイント

1

一般会計実質収支額 7億900万円

※歳入決算額から歳出決算額と翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額。一般的に黒字・赤字とは実質収支上のことです。

2

経常収支比率 93.5%

※財政構造の弾力性を測定する指標。この数値が高いほど財政が硬直化し、自由度が少なくなっている状態を表します。

3

財政力指数 0.371

(3年平均) (前年度 0.370)

※地方公共団地の財政上の能力を示す指数で、この指数が「1」を超えるほど財政に余裕があります。

外貨を稼ぐ地域づくり（地場産品の情報発信拠点）のため！

うきは地域総合商社整備事業 4280万円



フルーツ王国“うきは”地域ブランド認知度向上のため！

うきはテロワールプロモーション事業 1749万円



若い世代の安定した雇用創出のため！

企業誘致対策費 4億2983万円



平成29年度に取り組み られた主な事業

◆監査委員からの意見

本年度決算は全ての会計で黒字とはいえ、財政力指数から見ると、行財政運営は厳しい状況にあり、人口減少や高齢化社会の進展を考えると、地方創生に向けて将来にわたって成長力を確保することを目指すとともに、持続可能な行財政運営を強く望むものである。

基金については、最近国は地方自治体の基金残高の増加について問題提起しているが、国の動向などに十分注視して積立と運用を効果的に実施されたい。

最後に、地方創生に向けて、うきははテロワールや歴史資源・環境資源を生かした個性ある事業に取り組まれているが、人口減少や超高齢化に向けての総合的な政策を展開する必要がある、市民をはじめ地域や事業者が一体となり連携して実施することが大切である。

うきは市総合計画の将来目標「うきはブランドを絆で結ぶしあわせ彩るうきは市」を着実にかつ変化に対応しながら実現するよう願うものである。

医療と介護が、24時間365日
受けられるサービスは



さとう たんよう
佐藤 湛陽 議員

24時間ケアセンターを整備し、
利用の拡大に取り組んでいます(市長)

佐藤 在宅医療について伺う。

市長 今年度からは、うきは・久留米の両市が浮羽医師会に対して在宅医療・介護連携センターの運営業務を委託し、事業の推進を図っていくこととしています。

佐藤 認知症施策の進捗状況を伺う。

市長 「筑後吉井こころホスピタル」に認知症初期支援チームの業務を委託し、認知症カフェについては平成29年度より補助金交付要綱を定め、認知症カフェを運営する団体に対して支援を拡大しています。

佐藤 生活支援サービスの体制整備について伺う。

市長 平成29年度中に江南・御幸・大石地区に協議の場を設置し、各地区の課題を挙げ、現在協議を進めています。市全体の協議の場である第一層協議の場も平成29年度末に設置し、意見交換を行ってきました。既に設置されている地



協議の場「ふれあい大石」

区については、それぞれ第二層の地域支え合い推進員を配置し、事業を推進してもらうための業務委託を自治協議会に提案しています。

佐藤 訪問介護事業について伺う。

市長 平成27年介護保険制度の改正を踏まえ、県と連絡を取り、家事援助等の生活支援を行うヘルパーを養成するための研修を10月より実施する予定です。また、現在小学校区単位で地域の高齢者の生活支援についても話し合いが行われているところです。

吉井小学校教室のカバン掛け
フックに危険性を感じるが



うえの きょうこ
上野 恭子 議員

応急的にカバン掛けフックを安全制のあるもので対応したいと思っています。また、今後は児童用棚の設置を検討いたします(教育長)

●●● 認知症患者の保険加入は

上野 本人や家族を守る為、認知症保険を市で加入できないか。

市長 毎年行方不明事案が発生しており幸い発見されています。

上野 徘徊中の事故により莫大な損害賠償請求等をされた場合の備えとして検討を。

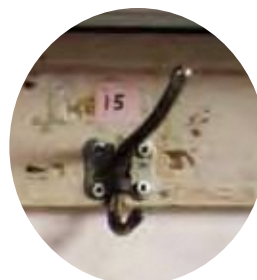
市長 今後、保険加入の必要性等を調査して参ります。

●●● ヘルプマークについて

上野 高齢化も進み障害や難病者、妊婦さんに対し思いやる社会の配慮を必要とする方へ、ヘルプマークの配布はできないか。

市長 県では28年1月に作成し、福祉事務所窓口で必要な方に配布しておりますが、周知が不十分な状況の為、広報周知や設置場所を増やしていきたいと考えています。

上野 市民の方にヘルプマークの意味を周知して頂く事、またマ



カバン掛けフック

クにカバーをつけて欲しい。

福祉事務所長 紙ベースなのでケースに入れるとか、検討していきたい。

●●● うきは市フロント設置について

上野 街並みに顔の見える案内フロントを設置し、うきは丸ごと博物館案内や定住促進につなげては、

市長 顔の見えるフロント強化は、重要で施設を活用し満足度の高い市フロント強化を検討します。

●●● うきは市イメージドイリーは

上野 フルーツや古墳等、市をカラーで表現するドイリーは。

市長 市のイメージカラー戦略は貴重な提案と受け止めます。

三春工業団地と杷木インターを
結ぶアクセス道路について



のぶる おさむ
野鶴 修 議員

大石高見交差点改修工事の進捗状況を
みながら検討していきます(市長)

野鶴 県道保木吉井線の道路は狭く、現状のままでは危険な状況である。市道下の川々荒瀬線の改修工事が必要では。

市長 市道下の川々荒瀬線の改修は財政的に厳しく、市全体の市道整備状況を総合的に判断していききたいと思っています。



県道 保木～吉井線の状況(東高見～三春原口間)

●●中山間地の農業振興について

野鶴 高齢化や人口減少の進む中、担い手のいない中山間地農業をどう守っていくのか。

市長 まず中山間地で栽培可能な作物の検討をJAにじ・普及指導センターと連携して行っていきます。次に有害鳥獣等による被害防止

の推進です。現在捕獲従事者の育成を進め、地域ぐるみで捕獲活動の推進を行っています。最後に農業担い手の確保です。新規就農者の育成・確保、企業による農業への参入、営農組織の法人化等を進めています。

野鶴 中山間地域の営農支援を目的とするうきはレインボーファームの財政支援等について、どう考えているのか。

市長 現在市とJAにじ、普及指導センター、レインボーファームにおいて経営検討会議を行っています。その中で検討していきたいと思っています。

野鶴 中山間地の荒廃農地が拡大する中、農地として守っていく場所とそうでない場所との線引きが必要と思うが。

市長 中山間地の農地の線引きについては、農業振興地域整備計画の見直し等も見据え、地域とも協議しながら進めていきたいと考えています。

「迫り来る危機的な現実」
農業政策が届いていない！



えとう よしみつ
江藤 芳光 議員

今は「実行のみの時期」と認識しています(市長)

江藤 平成25年と昨年提案した農業振興政策(農業企業化)、さらには昨年発足した「農業振興プロジェクト」の動きが見えない。

市長 やるべき方針はすべて出ています。私の責任として今、実行すべき時期だと認識しています。

●●市役所の働き方改革について

江藤 2年後、今の嘱託・臨時職員を「同一労働・同一賃金」とした場合の概算費用は。

総務課長 対象者約250人が想定され、ボーナス9200万円、通勤手当1200万円と合わせて1億400万円の増額を試算しております。

●●廃校舎の活用について

江藤 姫治・妹川小学校について、山村の魅力的な特性を活かし、新学習指導要領等に掲げる「生きる力」を育む体験活動の拠点として、地元小・中学生はもとより福岡都市圏など広く受け入れる施



来年3月末をもって廃校となる妹川小学校(山村振興の拠点として廃校舎の活用が課題)

生活保護費削減の影響は



いわぶら かずあき
岩淵 和明 議員

影響はほとんどないと考えます（市長）

岩淵 この間二度の大幅な改正が実施され、健康で文化的な生活を営む権利が守られていると考えるか現状認識を伺う。

市長 生活に困って暮らせなくなった時の最後のセーフティーネットが生活保護制度であり、憲法25条による生存権の保障がしつかり裏打ちされていると基本的に認識しております。

岩淵 改定にあたり所管にどのように指示しているのか。

市長 一部の方は引き下げになりますが、大半は微増になり、今手分けてケースワーカーが丁寧に説明するよう指示しております。

岩淵 何故うきは市のホームページに生活保護の内容を記載していないのか。

福祉事務所長 生活保護の住民向けの広報として、ホームページを早急に開設していきたいと考えております。

岩淵 子ども世帯の扶助加算が変わり、貧困の連鎖が一層拡大する



岩淵 子ども医療費の対象拡大の検討を求めるが。

市長 支給の拡充については、近隣自治体の実施状況等も考慮しながら検討を進めて参ります。

事を危惧しているが、うきは市で下がる世帯の実態を把握し、子どもに対する手当を検討できないか。

市長 生活保護利用世帯で、18歳未満の子どもがいる割合が福岡県全体では14%前後に対し、うきは市は20%前後と多いことは承知しており、様々な施策に取り組みなければと感じています。

岩淵 子ども医療費の対象拡大の検討を求めるが。

市長 支給の拡充については、近隣自治体の実施状況等も考慮しながら検討を進めて参ります。

子どもが安全に安心して学習できる町づくりの取り組みは



たけなが しげあき
竹永 茂美 議員

今後も教育にはしっかりと予算確保に努めます（市長）

竹永 小学校総務費・教育振興費・中学校教育振興費等を見ると、一般財源からの支出が50%を切っているが安心できる予算措置なのか。（左表）

市長 一般財源の額をもって予算の推移を見る、あるいは比較をするのではなくて予算の総額で見ていただく必要があるのではないかと思います。

竹永 7月6日豪雨時の通学路の安全対策は。

教育長 冠水の原因は県営河川山曾谷川からの越水が一因と考えられます。県土木事務所へ改修の要望を致しました。

竹永 現場の声が反映されるよう、うきは市立学校総括健康管理規程の見直しを。

教育長 本年度は、委員である校長が、各学校の衛生委員会での内容を集約して報告するという手順を取りたいと思っています。

うきは市小・中学校教育費（総務費、教育振興費・学事係）

	2016(平成 28)年決算	2017(平成 29)年決算
小学校総務費	総額 131,983,019 円	総額 130,731,217 円
	一般財源 131,980,437 円	一般財源 76,042,275 円 総額に占める割合(58.2%)
	総額に占める割合(99.9%)	ふるさと・まごころ基金 52,131,000 円(39.9%)
小学校教育振興費	総額 50,943,227 円	総額 56,998,631 円
	一般財源 49,698,787 円	一般財源 19,932,791 円 総額に占める割合(35.0%)
	総額に占める割合(97.6%)	ふるさと・まごころ基金 35,552,000 円(62.4%)
中学校教育振興費	総額 36,523,418 円	総額 37,470,487 円
	一般財源 35,471,235 円	一般財源 1,083,616 円 総額に占める割合(2.9%)
	総額に占める割合(97.1%)	ふるさと・まごころ基金 35,000,000 円(93.4%)

総務産業常任委員会

◆九州北部豪雨災害に関する調査

調査日時…平成30年7月23日

調査要旨

被災から1年を経過した朝倉市の当時の被害状況と、現在までの復旧・復興の経過について調査を行いました。

調査結果

昨年の災害では、線状降水帯が形成され、わずか9時間で774mmの短時間記録的豪雨を記録しました。（平成24年の災害では、72時間で681mmでした。）杷木の松末地区では1時間に137mmを記録し、それ以上は計測不可でありました。

県営河川の復旧工事に関しては、国土交通省が権限代行で実施し、スムーズに工事が進められています。市が発注する工事については、入札の不落が続き、苦慮しているとのことでありました。

復旧・復興計画を策定するにあたり、復旧に3年、復興まで合わせて10年計画で地域を再生することで地元へ了解を求めたということでした。

所見

被害状況では、現在でも立ち入り禁止区域もあり、山・農地・宅地の境界がまったくわからない状況の箇所がほとんどでした。

復旧・復興を進めるに当たり、復旧に3年、再生期に4年、発展期に3年という計画でありましたが、地元との協議を重ねながら、毎年の計画見直しが必要であると感じました。

また、今回の災害で住所はそのままで、実際に転出している家庭も多く、人口流失対策もこれからの大きな課題と思われました。



朝倉市被災現場写真

◆小石原川ダム事業進展に関する調査

調査日時…平成30年8月1日

調査要旨

小石原川ダムは、うきは市や福岡

県南広域水道企業団が上水道として

利用する都市用水の他、洪水調整なども行われるダムです。平成31年度完成予定のダム工事の進捗状況を確認しました。



小石原川ダム工事状況

所見

小石原川ダムについては、平成31年度完成に向けて工事は順調に進められているところですが、うきは市での上水道に関する市民の認識は不十分と感じるところです。今後、執行部の動きを注視していきたいと思っています。

◆地方創生対象事業に関する調査

調査日時…平成30年8月1日

調査要旨

地方版総合戦略うきは市ルネッサンス戦略の平成29年度の事業の実施状況及び経過、成果等について、調

査を行いました。

調査結果

うきは市ルネッサンス戦略のもと、平成28年度は9290万円、平成29年度は2億2593万円、平成30年度は当初予算と前年度繰越分を合わせて3億9670万円の交付を受けることになっています。そこで、3年間の事業成果等についても質疑を行いました。

【主な質問事項】

質問…地方創生交付金全般の事業の評価はどのようにしているのか。

回答…外部の委員によるルネッサンス戦略推進協議会で年1回会議を実施しています。

質問…東京でのアンテナショップを活用した成果はどうなっているのか。

回答…平成30年1月末までに来客数は12万人（目標15万人）、売上げ3千万円（目標1億円）となっています。

所見

うきは市では、地方創生交付金を最大限活用し、多岐にわたって事業を行っています。今後はその事業の円滑な実施と、KPI（目標達成値）をきちんと行い、十分検討をするよう求めました。

厚生文教常任委員会

◇自動車学校の概要と今後の経営計画及び方針について

調査日時…平成30年8月9日

調査要旨

少子高齢化に伴い自動車学校を取り巻く環境も変わりつつあります。うきは市立自動車学校について調査を行いました。

調査結果

昭和33年8月に「浮羽町立自動車専門学校」として開校。以来公立として利益追求だけではなく、安全運転者の育成及び地域から悲惨な交通事故を追放することを最大の目標に運営されてきた経過があります。

今後の経営方針として、若年層獲得のためのホームページ開設・近隣学校での営業活動・防災無線やチラシでの周知・交通安全講習の実施等を積極的に行っていくとの説明を受けました。

所見

全国的に少子化や若者の車離れ等が教習所の存続や経営に影を落としており、最近10年で教習所の数は145カ所も減少しました。反面、高



公立としては全国に4校しかない「うきは市立自動車学校」

◇各小学校の教育環境に関する実態について

調査日時…平成30年8月9日

調査要旨

この夏、愛知県で校外学習後に小学1年生が熱中症で死亡するという痛ましい事故が発生しました。暑さ対策はもとより、その他教育環境全般について各小学校校長をはじめ関係職員との意見交換会を行い実態の把握に努めました。

調査結果

学校側の要望として、支援員の増員配置・給食室の空調設備・洋式トイレの設置・一部校舎老朽化による営繕工事等の声が多く聞かれました。教員の働き方改革については8月から本格的にタイムカードを導入し各小学校とも、過重負担と見られる場合は、その要因を分析し役割分担の明確化等できつかり対応していきたいとのことでした。

所見

教育環境の改善は、うきは市の未来を担う子供たちのために必要不可欠であり、できる限り現場のニーズに即した行政対応が求められると考えます。現場の実態を認識できたという点で今回の調査、学校関係者と

の意見交換は意義のあるものとなりました。また、各学校、各教室の空調設置については温度調査の結果等も踏まえ全議員で協議し、本議会において「小・中学校へのエアコン設置を求める決議文」を全会一致で採択し、市長に提出しました。



老朽化が進む吉井小学校

議会改革特別委員会

議会改革



めざし、活発な改革議論を行っています。

【委員会の構成】

委員長 中野義信（総務産業）
副委員長 佐藤堪陽（厚生文教）
委員 ほか全議員（12人）

【改革の「テーマ」】

主なテーマは次のとおりです。

□議会報告会のあり方

議会基本条例に基づく「開かれた議会」における市民との対話をどう進めるかを検討します。

□自由討議の拡大・推進

憲法問題など諸課題に対する自由な議論を展開し、議会力の向上をめざします。

□政治倫理条例の制定

議員が汚職など疑惑を招かぬよう条例制定を検討します。

□県議会及び近隣市町村議会との交流推進

県事業及び広域事業を推進するため、県議会及び近隣市町村議会との連携・交流を図ります。

□議会の情報化推進

議会の情報化を迅速にするための、タブレット・端末機等の導入を検討します。

全国の小規模議会は、人口減少等により、「議員になり手がいない」、「女性の議会参画」「議員の高齢化」、また「議員の質の低下」などが問題視されています。

このような現状において、総務省は「地方議会のあり方研究会」を立ち上げ、選挙制度のあり方や議員の専門性向上などの課題を提示しました。

うきは市議会では、今年4月の改選により、新たに「議会改革特別委員会」を設置して、「開かれた議会のあり方や議会力の向上」を

請願

請願第2号「国会における憲法論

議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書提出に関する請願書」

【請願者】 美しい日本の憲法をつくる福岡県民の会

運営委員長 山本泰三

（紹介者 中野議員）

この請願は、所管の厚生文教常任委員会で審査した結果、議論することには賛成ですが、請願者の説明には納得できないとして反対多数で不採択となりましたが、本会議において討論の結果、賛成多数（賛成8名、反対5名）で採択されました。

【賛成議員】 伊藤 上野

佐藤 湛 中野 熊懷

鍵水 組坂 佐藤茂

【反対議員】 江藤 岩淵

竹永 野鶴 佐藤裕

請願第4号「地方財政の充実・強化

を求める意見書提出に関する請願」

【請願者】 自治労うきは市職員

告会」の在り方が協議され、基本条例第7条の見直しは行わず、自治協議会の協力のもと「意見交換会」として開催するとの結論に至りました。その結論を踏まえ審査の結果、全会一致で不採択と決しました。

陳情第5号「うきは市議会基本条例第7条に関する陳情書」

【陳情者】 うきは市民の会

会長 熊抱昭夫

陳情第4号と同じ内容により審査の結果、全会一致で不採択と決しました。

陳情第6号「安倍首相問責決議に関する陳情書」

【陳情者】 うきは市民の会

会長 熊抱昭夫

地方自治体の議会としては首相に対しての問責、すなわち責任を問いつめる決議は出来ません。よって審査の結果、全会一致で不採択と決しました。

陳情第7号「国営筑後川中流土地改良事業（国営施設機能保全事業）における市負担に関する陳情」

【陳情者】 うきは市民の会

地方創生

ルネッサンス戦略

少子高齢化等に起因する人口減少。若者は仕事を求め東京など大都市に集中し、地方はこれからどうなるのか…。

うきは市は、生き残りを賭けた国の「地方創生総合戦略」にいち早く名乗りを上げ、素朴な農村原風景と古い歴史・文化、フルーツ生産など地域資源を活かした「ルネッサンス戦略」を策定し、議会も市と連携して総力を挙げて取り組んできました。

戦略策定から4年、その実績を報告します。

【主な取り組み事業】

◆観光プロモーション事業

フルーツ等の地産ブランド及びインバウンド観光の情報を発信します。

◆うきは「テロワール」事業

フルーツ生産の地質・気候等の基礎資源である「テロワール（7大自然要素）」を活かした、新たな農業プロモーションを開拓します。

◆農業マーケティング事業

市・JA共同出資による（株）レインボーファームを設立し、新規就農者の育成事業を推進します。

◆うきは総合商社の設立

外貨を稼ぐ地域づくり及び仕事づくりの拠点として、道の駅にうきは地域総合商社「ウキハコ」を設立しました。



◆歴史的資源活用事業

吉井町の文化的建造物「鏡田・居蔵の館」を活用した新ビジネス（テレワーク等）を展開予定です。

◆国際連携・文化創出事業

オランダとの交流を通じ、アーティスト（芸術家）を受け入れるなど文化資本を形成します。

労働組合 代表 山崎 穰

（紹介者 野鶴議員）

本件は、多額の基金を保有する地方自治体は地方交付税を減額するとした国の意見に対し、基金は将来への目的財源であり、交付税減額を強行しないよう求めるとして全会一致で採択されました。

請願第5号「教職員定数と義務教育費国庫負担制度1/2復元を図るための、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請について」

【請願者】福岡県教職員組合

三井支部 支部長 野村広義
（紹介者 竹永議員）

この請願は、以前と同内容の請願であり、全会一致で採択されました。

陳情

不採択

陳情第4号「うきは市議会基本条例第7条の見直し・改善及び議会報告会の例年通りの開催について」

【陳情者】

中島健一

議会改革特別委員会で「議会報

【陳情者】大石土地改良区

理事長 東 米市

本件は、当該事業に係る受益者負担（1・11％）、総額451万円を久留米市に準じて免除するもので、全会一致で採択されました。

陳情第8号「議会図書館の整備・活用」等のために、蔵書等の予算化を図ること及び図書館の市民利用を可能にすること、に關しての陳情」

【陳情者】 中島健一

市民の利用については、書籍の管理や部屋の管理、それに伴う職員の配置等、課題もあり今後検討して行きます。蔵書等の予算化については、願意妥当として全会一致で趣旨採択と決しました。

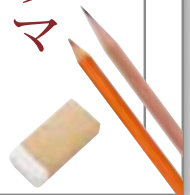
陳情第9号「うきは市議会傍聴規則の見直し・改善について」

【陳情者】 中島健一

「傍聴者への配慮」については8月の議会改革特別委員会でも協議されました。引き続き協議を行っていきます。よって、審査の結果、全会一致で趣旨採択と決しました。



「うきは」 パノラマ



「うきは」と広がる「うきは」の絶景。ここは「芝尾山」、山春地区の東に位置する小高い山で、パイロット事業により一面が梨・ぶどうなど果樹の生産基地です。

大春中学校の卒業生であれば誰もが知る「宝の山」。当時は山全体が雑木林で「松茸」も採れていました。男子生徒は勉強よりも遊びに奔走し、秋になると授業を抜け出しては山芋や果実を捕り、罨やゴム銃で鳥などを仕留める器用な者もいました。

一方で、生徒集団の縄張り争いなど、山に呼び出されてはケンカも日常茶飯事のようなでしたが、陰湿で卑怯ないじめなどはなく、雑草の如く生きてきた男たちが「この時代の基盤を守ってきたのだ」と思っています。

さて、豊かなバブル期に育った親子、そしてその子どもたちは今「貧困格差」が漂う社会において、将来をどう生きるのか、素晴らしきこの「うきは」を、誰が守ってくれるのでしょうか…。

傍聴へどうぞ

12月議会は
12月7日(金) 開催予定

一般質問は12月10日(月)、
11日(火)の2日間行われる
予定です。



「うきは」パノラマ 連載に向けて

今回から2年間、特集エッセー「うきは」パノラマを連載します。市民にも案外知られていない「うきは」の魅力。うきは市広報係と連携して、その魅力をお伝えします。

今回は、久留米大学が「フルーツ王国うきは」をPRするプレスリリース広報業務の研修でうきは市を訪れ、「芝尾山」からのパノラマ絶景を撮影した写真をもとに、その昔の風景をエッセーで描いたものです。

編集後記



9月議会は、「決算議会」と呼ばれています。決算特別委員会が9月14日から5日間にわたり開催されました。

新人議員は初めての決算審査でしたが、よく勉強して鋭い質疑も飛び出し、ベテラン議員の真髄をつく鋭い質問が議場の緊張感を高めるなど、議員の姿勢が「議会力の向上」に向かう、確かな総意だと評価される会期でした。

発行責任者

議長 櫛川 正男

広報広聴委員会

委員長 江藤 芳光
副委員長 鏈水 英一
委員 野鶴 修
佐藤 裕宣
組坂 公明
佐藤 茂和

議会事務局

TEL 75-4990
FAX 75-3342